

第三セクター鉄道 伊勢鉄道への支援について

1 趣旨

第三セクター鉄道である伊勢鉄道株式会社（以下「伊勢鉄道」という。）は、旧日本国有鉄道から無償で供与された施設設備の老朽化が進んでいることから、鉄道設備の根幹である安全運行を確保するために、平成26年12月に中期安全設備整備計画（以下「整備計画」という。）を策定しました。整備計画の実施に当たり、国庫補助金のほか必要な資金について自社資金と三重県、関係市町村及び民間企業が負担し積み立てた三重県地域交通体系整備基金（以下「整備基金」という。）により負担していますが、将来にわたり安定した鉄道経営を継続し、収支均衡を目指していくためには当該施設設備に係る投資的な経費を地方自治体が負担していくことが必要であり、三重県が主体となり、三重県、沿線3市及び沿線3市以外の12市町が支援を行う新たな枠組みが構築されることを受け、本市としてもその支援を行うものです。

2 伊勢鉄道の位置付け

伊勢鉄道（河原田駅から津駅まで。22.3km）は、旧日本国有鉄道の伊勢線として昭和48年9月1日に営業を開始し、日本国有鉄道経営再建促進特別措置法に基づき、三重県、関係市町村及び民間企業の支援を得て、第三セクター鉄道として、昭和62年3月27日に営業を開始しました。

同線は、地域住民の通勤及び通学における移動手段として大きな役割を担っているほか、名古屋と伊勢・鳥羽方面及び東紀州地域を結ぶ鉄道網の一翼を担っており、県内の交通体系全体に影響を及ぼす鉄道です。

本市の区域においては、伊勢上野駅、河芸駅、東一身田駅及び津駅の4駅が存し、停車する普通列車は1日19往復、津駅に停車するJR東海の「快速みえ」は1日13往復、「特急南紀」は1日4往復しています。

3 支援の内容

地方鉄道の経営においては、「上部」（鉄道を運行する。）と「下部」（社会資本としての施設設備に係る投資的な経費を負担する。）の事業者を分離する「上下分離方式」による経営が広がりつつあり、伊勢鉄道においても「上

下分離方式」の考え方に準じ、鉄道運行は伊勢鉄道が行い、施設設備に係る投資的な経費は地方自治体が負担していこうとするものです。

整備計画における平成28年度から平成40年度までの13年間の事業費総額は約18億3,000万円で、国庫補助金予定額約5億3,000万円、整備基金等の残額約3億円を充てた残りの10億円について、支援が必要となっています。

4 支援の枠組

支援が必要な10億円については、三重県を中心に沿線3市及び沿線3市以外の12市町との間で協議・調整した結果、第三セクター設立時の出資等の割合を基本に三重県が5億円、沿線3市が2億5,000万円、沿線3市以外の12市町が2億5,000万円を負担することになりました。

- | | | |
|-----|---|----------------|
| (1) | 三重県 | 1／2（5億円） |
| (2) | 沿線3市 | 1／4（2億5,000万円） |
| | 津市、四日市市、鈴鹿市 | |
| (3) | 沿線3市以外の12市町 | 1／4（2億5,000万円） |
| | 伊勢市、松阪市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、多気町、大台町、玉城町、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町 | |

5 支援の方法

支援については、平成28年度から平成30年度までの3年間を基本として、三重県、沿線3市及び沿線3市以外の12市町が整備基金に積増しを行います。

6 本市の支援額

沿線3市の2億5,000万円の負担については、三重県の提示により出資割合に応じて按分した額とし、本市の負担分については3年間で8,312万7千円となります。

平成28年度から平成30年度までの3年間において、伊勢鉄道支援事業として、平成28年度当初予算には2,770万9千円（負担金、補助及び交付金）を予算計上し、平成29年度及び平成30年度にはそれぞれ同額を債務負担行為により整備基金に積増しを行います。

平成28年度 2,770万9千円

平成29年度 2,770万9千円（債務負担行為）

平成30年度 2,770万9千円（債務負担行為）

7 伊勢鉄道における経営改善の方向性

整備計画に基づく大規模設備投資については、三重県、沿線3市及び沿線3市以外の12市町において支援しますが、鉄道の運行に関しては、伊勢鉄道が自立的経営を行うこととなります。

伊勢鉄道は、現在、経営改善計画を策定中であり、安定的な事業継続を図るため、平成28年度から平成30年度までの3年間、経営改善に集中的に取り組んでいくこととしています。

8 今後の対応

伊勢鉄道支援事業に必要な予算を平成28年度当初予算に計上する予定です。

当該予算議決後、三重県、沿線3市及び沿線3市以外の12市町間において「伊勢鉄道株式会社への支援に関する協定」を締結する予定です。

その後、平成28年度分の支援額（上記協定に基づく負担金）を三重県が整備基金へ積み立てることとなります。

伊勢鉄道路線図

